

6月の園便り



23年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

「ほくにげちゅう」

幼稚園周辺の松林も緑豊かになりました。ニセアカシアの花も咲いて甘い香りがただよっています。子どもたちは花の香りを記憶して、やがて大きくなったときに「あ～この時期の懐かしい香り・・・」と感じてくれることと思っています。

体に変化する春、子どもたちにすこし疲れが出てくるこの時期です。登園を嫌がることも出てくることと思います。特に原因が思い当たらないときには、“疲れ”かもしれません、そのようなときには、ゆっくりと一日休ませることも必要になります。

(原因が分かって、必要がある場合にはぜひ担任にご相談くださいね。)

外遊びの時間に、疲れたので少し休みたいと小さなお客様が二人、職員室にきてくれました。疲れがでてくる時期ですし、おまけに週末の金曜日でしたから無理もないことです。二人にお茶をだして、そして本を読みました。初めて職員室にきたので少し不安な様子が見られた男の子も、次第にゆったりしてきて、3冊あった本の中から「次はこの本がいい」と選ぶようになって、そして本棚から自分で本を選んでくるようになりました。もう一人の女の子はすでに何回も職員室に来ているので、お茶のお代わりをしたりおしゃべりをしたりリラックス・リラックス・・・

しばらく3人でゆったりとした時間を過ごしていると・・・給食の時間になったので、二人とも自分のクラスに戻っていきました。たくさんたくさん人がいる場所は疲れやすいものです。時に、ほんの少し休息をとることも必要になります。

職員室で ふ～っ とひと息ついて また集団の中へ戻っていく“けなげな子どもたちのうしろ姿”に、心の中で ガンバレ～～～～♡

子どもたちが、職員室に入ってこられるようになるということは、子どもの世界が広がって、ずいぶん慣れてきた証拠なのです。子どもの自然な姿からは、心の状態がよくわかります。自分で・・・自分から・・・という子どもの内面の働きによるものなのです。この内面の働きができるように・・・と願って 私たち保育者は、大人の威圧的な態度で、子どもを動かすことをできるだけ避けているのです。子どもの心がよく表れると、一人ひとりに何をしてあげたらいいのかが分かります。大人が自分の思いで、子どもを言うとおりにさせていると、この内面の働きがとどまってしまう。子どもの本当の思いに気づくことができなくなります。子どもの気持ちと大人の気持ちとがずれてきてしまいますね。子どもの思いを感じながら、正しい方向へ導くことが子どもたちの内面を育てることなのだと思います。

6月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	水	○	2:00	
2	木	○	2:00	
3	金	○	2:00	
4	土	×		森の探検隊を行います。
5	日	/	/	
6	月	○	2:00	
7	火	○	2:00	父母の会教養部主催「園長のお話会」
8	水	○	2:00	
9	木	○	2:00	
10	金	○	2:00	
11	土	/	/	第2土曜日
12	日	/	/	
13	月	○	2:00	歯科検診各1組
14	火	○	2:00	歯科検診各2組
15	水	×	11:30	午前保育です。降園時間が早くなりますがよろしくお願いいたします。
16	木	○	2:00	
17	金	○	2:00	
18	土	×	11:30	自由登園日です。
19	日	/	/	
20	月	○	2:00	
21	火	○	2:00	
22	水	○	2:00	
23	木	○	2:00	参観日各1組
24	金	○	2:00	参観日各2組
25	土	/	/	第4土曜日
26	日	/	/	
27	月	○	2:00	
28	火	○	2:00	ジャガイモ掘りに出かける予定です。(ジャガイモの成長具合により変更の可能性があります)
29	水	×	11:30	誕生会です。6月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
30	木	○	2:00	プール開きは1日になります。